

西小倉めぐみ教会通信

発行者 日本キリスト教団 西小倉めぐみ教会
〒611-0042 京都府宇治市小倉町西浦33-36
TEL 0774-20-3071
ホームページ www.n-megumi.com

「恵みの中で」

倉橋 剛



主の御名を讃美いたします。

2006年も早いものであと少しで新しい年を迎えようとしています。今年も「西小倉めぐみ教会を支える会」に多くの方々より暖かいお祈りと尊いご献金をいただき、小

さな教会の伝道の業が支えられてきたことを改めて感謝し、心よりお礼申し上げます。

私たちの教会は本当に小さい教会ですが、二つの大きな使命を与えられていると思っています。それは平和を創り出す教会である事と、弱い立場の人々と共に歩む教会という宣教の目標です。平和を創り出す教会という面では、教会の地元、宇治市小倉地区の「憲法九条を守る小倉の会」に加入し少しずつ活動を始めました。署名運動や更にこれからは、学習会など啓発活動を進めていきたいと思っています。「九条改憲反対！、九条改憲反対！」とばかり言っていたのでは、世論や、特に若い層に軽視される傾向があるのではないのでしょうか。私たちキリスト者として大切な切り口は、生命が挙げられます。神さまから与えられているすべての生命が大事にされなければならないのです。生命を無視しない憲法、それは軍隊を持たない憲法であり軍事協定を結ばない国家です。平和憲法である九条を守るという姿勢と、さらに一歩踏み出してすべての生命を守る法律を作っていないのでしょうか。単なる理想論にしまわれないで、私たちの日常の中に持ち帰って話をする事が大事ではないのでしょうか。

また、もう一つの使命である、弱い立場にある人々と共に歩んでいきたいという願いは、随分と不思議な神さまのみ業で少しずつかなえられています。7月になって長期欠席されていた心の病を持つAさんが、同じように心の病を持つお連れ合いのBさん、そして友人のCさんと共に礼拝出席されました。3人は家庭で一緒に聖書を読み、祈る時を持っておられましたが、その時に聖書に関して色々な疑問出てきたり、また、日常生活のなかでも信仰に関して聞きたいことがあるからと、私の所に連絡してこられました。もちろん簡単に答えられることばかりではありませんが…。本当に3人の信仰は純粹で素朴なものです。それだけに大切なものに思えてきます。友人のCさんは主の導きの中で8月に洗礼を受けられ、Bさんも9月に転入会してこれら小さな輪の中に加わってくださいました。そして11月には、まだ教会で結婚式を挙げておられなかったAさんとBさんの、温かい心のこもった結婚式が出来ました。これからも弱い立場の方々との出会いが広がることを喜びとして、共に担いあっていきたいと思います。そして不登校やひきこもりがちな青年達を対象にスタートした居場所「フリースペース『おやすみ』」にも少しずつ家族の方や、ご本人が訪ねてくださるようになってきました。少しでもホッとできる場になればと願っています。

今年度もこのような小さい教会の働きを覚えていただき、「西小倉めぐみ教会を支える会」に、ぜひお祈りとご献金をおさげくださいますようお願い致します。皆様の上に神さまの祝福が豊かにありますようお祈り致します。 在主

2006年後半の教会のあゆみ

●10月13日 京都新聞に「フリースペースおやすみ」が紹介される

前号でもお伝えしたように、今年度より私たちの教会は、不登校や引きこもりの青少年を対象とした「フリースペース」をはじめました。この「フリースペース」は「おやすみ」と名付けられ、その活動が京都新聞で紹介されました。

不登校や引きこもりの青少年たち

ほっとできる居場所を

宇治の牧師 教会で「フリースペース」



「家を一步出て、会話を交わす。気持ちのやりとりが始まれば」と、呼びかけのビラを用意する倉橋さん（城陽市寺田の自宅）

屋敷でも 読書でも まず家から一歩出て

不登校や引きこもりで、このほど始まった。開ほっとできる場」と話した。宇治市の教会、牧師「悩む親子が集い、」

フリースペースでは決まった活動はない。パソコン、卓球台、ピアノなどがあり、本を読んでもいい。問い合わせは倉橋さん、074-28-88001。

牧師倉橋剛さん（城陽市寺田）は、平日は「研修センター」として市民が利用している教会の礼拝堂で、九月四日から毎週月曜の午後二時から五時まで、フリースペースを始めた。倉橋さんは一九九九年、当時牧師だった岡山県倉敷市の教会でフリースペースを開設。六年間、不登校となった子どもたちの成長を見つめてきた。昨年四月に宇治市の教会に赴任したのを機に、地元新たな居場所をつくることにした。始めは九月余り、教会の周辺にビラを配ったが、すでに二人の青年が訪れている。十六日もペースを開く活動はこれから。焦らずゆっくりやっていきたい。問い合わせは倉橋さん、074-28-88001。

●11月12日 しょうがい者と共にある主日

今年度は棚谷直巳さん（NPO法人ほっとハウス・とうがらしハウス理事、とうがらしハウス所長）を迎え、礼拝でお話をいただいた後、午後から「障害者自立支援法」についての学習会を持ちました。

「自立」という名の下で「しょうがい者」、その中でも特に弱い立場の人がいかに切り捨てられていっているかという現実を聞かされました。

内容の重要さの割に、あまりマスコミで報道されませんが、今後も注目して行かなければならない問題だと痛感しました。

●11月26日 AさんBさん結婚式

冒頭の倉橋牧師の文章にも出てくるAさんとBさんの結婚式。教会の仲間が〇〇年前の結婚式で着たドレスを、みんなで仕立て直してリメイクするなどまさに「手作り」の結婚式でした。

式後は2階の和室で、ティーパーティー。教会の仲間たちみんなが心から二人の幸せを祈るとともに、二人と出会わせていただいたことを神様に感謝した、そんな暖かなひとときでした。



●12月24日 クリスマス特別礼拝、イブ礼拝

朝10:30よりクリスマス特別礼拝を守った後、2階の和室でみんなで鍋を囲んで祝会をもちました。普段ひとり暮らしでなかなか鍋料理を食べられない人も、おなかいっぱいになるまでおいしくいただきました。

夜7時には、もう一度教会に集まりイブ礼拝（燭火礼拝）をもちました。今年のイブ礼拝のテーマは『『平和』を願って』。

礼拝のプログラムにイラクの現実を伝えるスライドを挟みながら、イエス様がこの世に使われた意味をじっくり考える時をもちました。

また、教会員親子のリコーダーとギター・ピアノ合奏や、詩の朗読など盛りだくさんの内容の燭火礼拝でした。



教会役員からの一言

主の御名を賛美いたします。

個人の方々や教会、諸団体等々の皆様の支えの中にあり、本年度も西小倉めぐみ教会は歩み続けて参りました。

連れ合いも会社員を10数年前にやめ、2人で自営業をしてきましたが、それもこの春でやめ、2人で年金生活に入ります。後何年、2人で歩めるか考えたり数えたりする年となりましたが、何とか充実した生活をとっています。

教会員の中には、私たちのように年金生活の者が多く、本当に大変です。でも一人ひとりが教会会計にも関心を持ち捧げているのも事実です。

本当にみなさまの支えも大きく感謝です。これからも明日も感謝しつつ歩みます。

田中 千栄

「知らないことは罪」という言葉を耳にしました。私たちは知らないことがどんなに多いことでしょう。小さな教会の交わりの中で、私たちは自分をさらけ出す時を持ち、互いを知る時をもっています。そして又、多くの人々に私たちの教会を知ってほしいと願っています。

でも、私たちを支えてくださっている多くの人々を知ろうとしているのか、反省です。尊い献金に支えられた私たちの歩みを、深く感謝しています。

門戸 幸子

私たちの教会には心身の不調で、毎週教会に来るとい事が困難な人が多くいます。そんな中、今年のクリスマスは朝と夜の礼拝の少なくともどちらかには出席できる仲間が多かったことは大きな喜びでした。

この通信を作る度、この教会は多くの人々に支えられていることを実感します。感謝の気持ちで一杯です。

安達 太郎

児童虐待死亡事件で、かつて私がいた児童相談所の職場が激しいバッシングを受けています。自分が在職していた時に起きても何ら不思議のない事件。自分の非力さは認めつつも、素人が慢性的な人員不足の中でそんな仕事をしている実態を声を大にして訴えたいと思います。そして、神様から与えられた一人ひとりの生命が大事にされる社会でありますように。

橋本 博

「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援のお願い

主の御名を讃美いたします。

西小倉めぐみ教会は、1981年4月、多芸正之牧師による開拓伝道により歩みを始め、以来、社会の中で小さくされた人たち、貧しくされた人たち、しょうがいをもつ人たち、とりわけ精神しょうがい者の人たちの課題を共に負って生きること、平和を希求して歩むことを宣教の課題として歩んできました。

2005年4月より倉橋剛牧師を後任牧師に迎えた後も、その基本姿勢に変わりはありません。

西小倉めぐみ教会では、教会に集う人たちが自身が精神しょうがい者であったり、その家族に精神しょうがい者がいる人たちが多くを占めています。弱い立場にある人たちが多く集う教会ゆえに、教会員による精一杯の献金にもおのずと限界があるところです。

また、倉橋牧師招聘後の謝儀は、京都教区宣教連帯の制度から援助を頂いておりますが、教区の財政状況も厳しく、今年度の援助額は昨年より約100万円の減額となりました。さらに教会の施設として牧師館を持っていないため、家賃等牧師館にかかわる費用が年間約150万円必要です。

同教会のこれからの社会的はたらきをご支援いただくことと併せ、このような経済的事情にどうかご理解をいただき、牧師館に関わる月々の費用を賄うための献金について、どうかご支援いただきたくお願い申し上げます。

2006年12月

西小倉めぐみ教会を支える会

代表 山下茂雄（醍醐教会牧師）

今までに御献金いただいた方のお名前（敬称略・順不同）

（敬称略・順不同）2006.7.3～2006.11.26現在

宇治教会 山下茂雄 佐々木寛子 廣野智子 広瀬規代志 大門義和・和子 鴨東教会 佐原英一
京都葵教会 光明園家族教会 君村千代子 足立こすえ 俣田浩一 川上信 ト部康之・杉岡ひとみ
恵大一郎・野の百合保育園 藤本真・横田督子 大住世光教会 藤倉勝弘 洛南教会 難波巧 村上宏
長岡京教会 三田教会 長崎哲夫 東新瀧教会 春田繁則・三菜子 岩城澄子 橋本博 杉本節子
小曽根一枝 団野利男・明日香 門戸幸子 東京山手教会 竹内富久恵 田中晁・千栄 倉橋剛・容子
（計539630円）

●これらの献金は、牧師館の家賃支払いに用いさせていただきました。ご支援ありがとうございました。

●教会のホームページが出来ました！！

11月より西小倉めぐみ教会のホームページが出来ました。まだまだ内容はこれからですが、これから充実させていく予定です。是非一度ご覧ください。アドレスは www.n-megumi.com です。

また、フリースペース「おやすみ」のホームページもあります。アドレスは oyasumi.info です。こちらの方も併せてよろしくをお願いします。